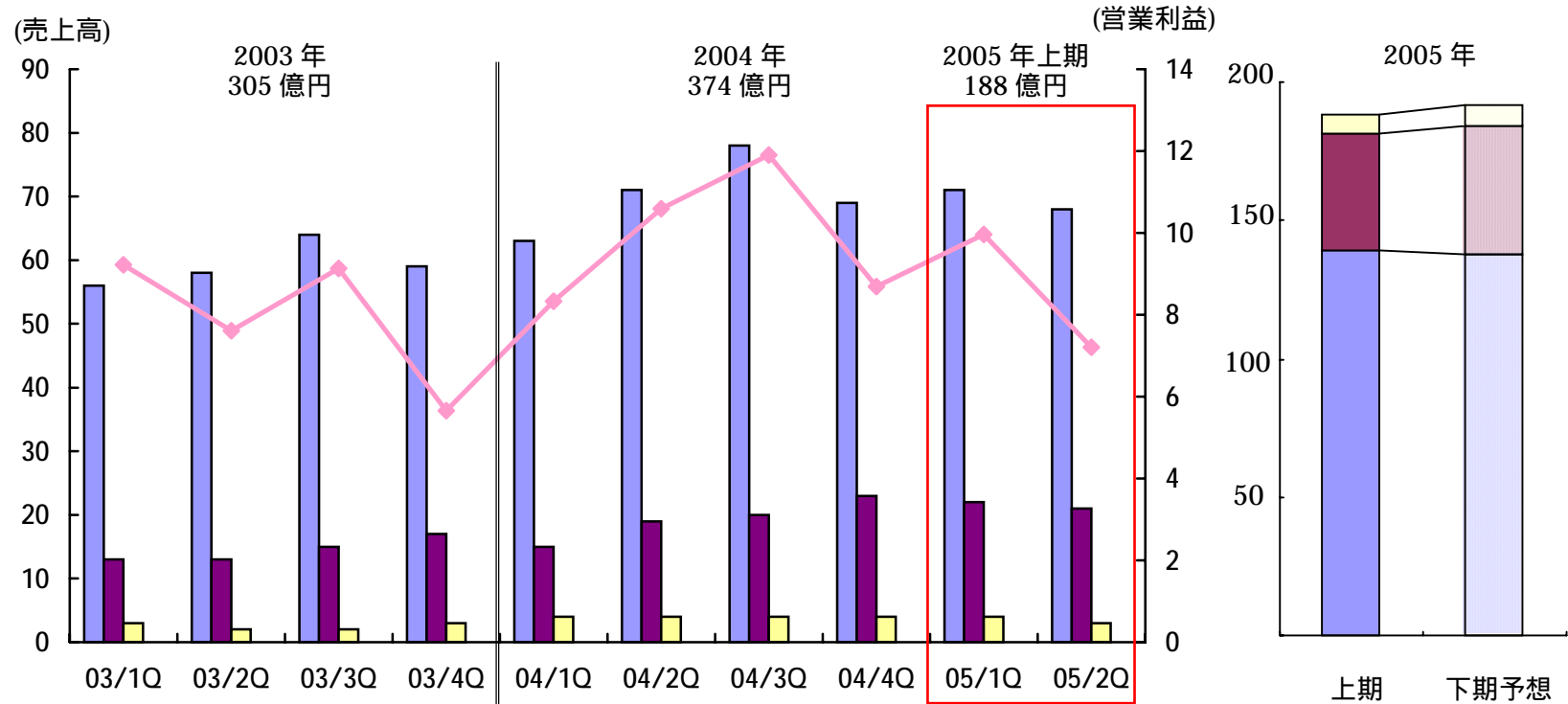


2005 年 12 月期  
中間決算説明会 資料

ニス力株式会社

## O A セグメントの推移

(単位：億円)



■ PH事業	56	58	64	59	63	71	78	69	71	68
■ SC事業	13	13	15	17	15	19	20	23	21.5	20.5
■ PR事業	3	2	2	3	4	4	4	4	4	3
OA合計	72	73	81	79	82	94	102	96	96.5	91.5
— 営業利益	9.22	7.61	9.13	5.86	8.33	10.59	11.90	8.69	9.96	7.20

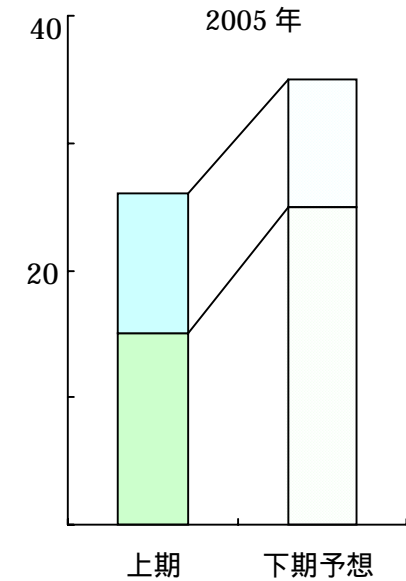
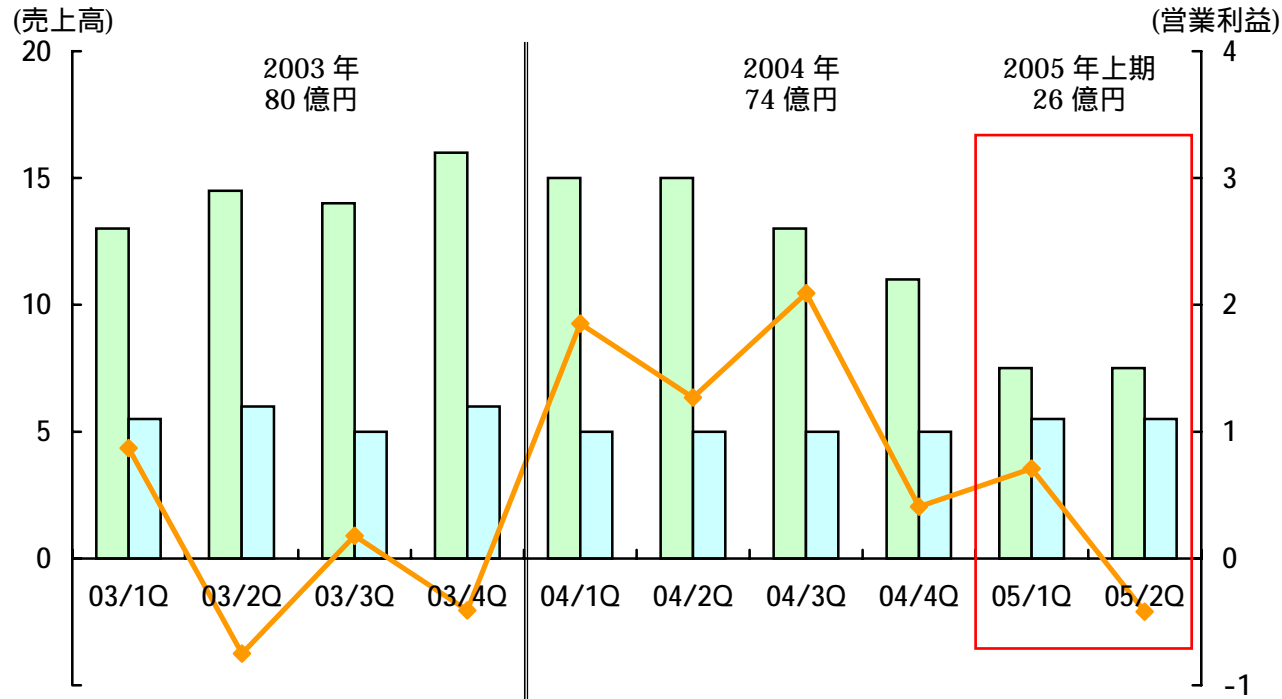
PH事業	139	138
SC事業	42	46
PR事業	7	8
OA合計	188	192

## OAセグメント 主要ポイント

	2003年	2004年	2005年 上期
売上高	<p>【上期】145億円）【通期】305億円 【下期】160億円）</p> <p style="text-align: center;">前期比3億円減少</p> <p>PH事業：カラー化、複合化関連商品(カラー用ADF、フィニッシャ)が増加</p> <p>SC事業：2004年に向けた準備段階にあり売上減少</p>	<p>【上期】176億円）【通期】374億円 【下期】198億円）</p> <p style="text-align: center;">前期比69億円増加</p> <p>PH事業：カラー化、複合化の進展によりADF、フィニッシャが大幅増加(2Q、3Qは特に増加)</p> <p>SC事業：新規顧客の獲得もありMF P対応のスキャナが大幅増加(年間を通して着実に増加)</p>	<p>【上期】188億円</p> <p style="text-align: center;">前年同期比12億円増加</p> <p>PH事業：フィニッシャが着実に増加したが2004年の勢いと比べ鈍化の傾向</p> <p>SC事業：MF P用スキャナが順調に推移</p>
営業利益 (消去前)	<p>【上期】16.8億円）【通期】31.6億円 【下期】14.8億円）</p> <p style="text-align: center;">前期比7.8億円増加</p> <p>カラー化、複合化により、PH事業の高付加価値商品が増加</p> <p>国内外での生産革新活動及び合理化活動が寄与</p>	<p>【上期】18.9億円）【通期】39.5億円 【下期】20.6億円）</p> <p style="text-align: center;">前期比7.9億円増加</p> <p>売上増加による利益増</p> <p>高付加価値商品の増加により粗利率が改善</p>	<p>【上期】17.1億円</p> <p style="text-align: center;">前年同期比1.8億円減少</p> <p>原材料価格の高騰による原価上昇</p> <p>販売価格の低下により粗利が減少</p> <p>製品の機種構成の変化により、高付加価値商品が減少</p>

## 光学計測セグメントの推移

(単位：億円)



OP事業	13	14.5	14	16	15	15	13	11	7.5	7.5
その他	5.5	6	5	6	5	5	5	5	5.5	5.5
光学合計	18.5	20.5	19	22	20	20	18	16	13	13
営業利益	0.87	0.75	0.18	0.4	1.85	1.27	2.09	0.41	0.71	0.42

OP事業	15	25
その他	11	10
光学合計	26	35

## 光学計測セグメント 主要ポイント

	2003年	2004年	2005年 上期
売上高	<p>【上期】 39 億円 ) 【通期】 80 億円                      【下期】 41 億円 )</p> <p>前期比 15 億円増加</p> <p>OP事業でのビデオカメラ用オートアイリスの売上増加                      デジカメ用シャッタの受注増加</p>	<p>【上期】 40 億円 ) 【通期】 74 億円                      【下期】 34 億円 )</p> <p>前期比 6 億円減少</p> <p>デジカメ用シャッタを中心に上期は順調に推移した。                      下期より市場競争が激化したことで採算重視の受注スタンスをとり売上が減少</p>	<p>【上期】 26 億円</p> <p>前年同期比 14 億円減少</p> <p>予想以上の市場競争のため大幅に減少                      下期以降の売上確保(リアプロ用アイリス)に向け体制を整備</p>
営業利益 (消去前)	<p>【上期】 10 百万円 ) 【通期】 10 百万円                      【下期】 20 百万円 )</p> <p>前期比 100 百万円増加</p> <p>営業利益はマイナスだが、前期比 100 百万円の改善                      品質トラブルの発生により売上増加にもかかわらず通期でマイナス</p>	<p>【上期】 300 百万円 ) 【通期】 550 百万円                      【下期】 250 百万円 )</p> <p>前期比 560 百万円増加</p> <p>品質問題の解決により利益を確保できる体制に転換                      下期は減収だが利益率の確保を優先</p>	<p>【上期】 30 百万円</p> <p>前期比 270 百万円減少</p> <p>売上の減少により利益も減少                      材料費 UP、販価の大幅 down により粗利が大幅に減少</p>

## 主要指標の推移

(単位:百万円)

	03年 上期	03年 下期	04年 上期	04年 下期	05年 上期	下期予想	通期予想
売上高	18,423	20,127	21,623	23,306	21,454	22,546	44,000
粗利率	18.0%	15.7%	18.2%	18.0%	15.6%	17.1%	16.4%
営業利益	1,513	1,303	1,998	2,086	1,496	2,004	3,500
営業利益率	8.2%	6.5%	9.2%	9.0%	7.0%	8.9%	8.0%
経常利益	1,523	1,239	2,108	2,038	1,741	1,859	3,600
特別損益	509(*1)	107	264(*2)	104(*3)	22	-	-
当期純利益	1,144	744	1,423	1,335	1,082	1,068	2,150
総資産	26,812	26,220	29,131	29,503	29,968	-	-
自己資本比率	46.1%	49.5%	49.5%	52.9%	55.2%	-	-
設備投資	474	283	422	309	328	727	1,055
研究開発費	258	289	283	303	217	264	481
減価償却費	338	416	368	406	368	494	862
借入金	2,425	1,663	948	781	152	0	0
配当金	5円	8円	9円	11円	15円	15円	30円
株主数	644名	628名	522名	1,773名	1,435名	-	-

\*1 厚生年金基金代行返上益 769百万円

\*2 厚生年金基金解散益 293百万円

\*3 有価証券売却益 213百万円

## 2005年下期以降の戦略

### 1. 事業戦略

(1) P H事業：フィニッシャの開発強化による差別化  
製本機能の充実  
小型化

(2) S C事業：カラースキヤナの強化  
カラー用M F Pへの対応  
高精細のスキヤナ開発

(3) P R事業：昇華型印刷技術を活用した新市場への展開

(4) O P事業：事業の再構築  
ビデオカメラ・デジタルカメラ市場での価格競争力強化  
携帯電話市場への進出  
プロジェクト(フロント、リア)用オートアイリスの販売強化

(5) 新事業：事業の高付加価値化  
高速搬送技術  
高速読取り(画像処理)技術

### 2. 原価低減施策

- (1) 海外生産の推進  
2006年度中に中国生産50%~  
\* 中国カントリーリスクを勘案
- (2) 試作品・小ロット製品の部品内製化
- (3) 設計V A・V Eの推進  
部品点数の削減、材質の変更
- (4) 調達力の強化  
グループ内での共同購買(エレキパーツ)  
アウトインによる原価低減  
調達先の選別・集約

以上